

令和3年度第2回岡山県立図書館協議会フリートークテーマ

テーマ：身近な課題解決を支援するサービスについて

- 県立図書館への県民の期待は、規模の大きさ、専門的な資料やサービス、豊富な資料や情報など様々ですが、何より、県立図書館へ行けば、今、仕事や生活で必要としている知識や資料、情報が入手できるのではないかというところにあります。
- こうした県民の期待に応えるため、岡山県立図書館は、主題別部門制を採用しています。これは、主題別に6つのカウンター（総合、人文、児童、社会、自然、郷土）を設け、専門的知識を有する職員が、所蔵する豊富な資料・情報を活用して、資料案内から調査研究支援にいたるまで充実した援助を行おうとするもの（「レファレンスサービス」と言います。）で、当館のサービス体制の大きな特徴となっています。
- このうち、仕事や生活に役立つ課題解決支援としては、健康医療、子育て・教育活動、ビジネス支援、法情報など幅広い分野に関して、資料・情報の提供（もちろん無料）を行っています。

健康医療：病気の症例、治療法、健康管理、病気予防、医学論文、医療機関情報など

子育て・教育活動：妊娠、出産、育児、しつけ、幼児教育、家庭教育、学校教育など

ビジネス支援：マーケティング、統計、労務管理、営業・接客、起業、就職、転職など

法情報：憲法、民法、地方自治法などの法令、条例などのほか、官報、裁判の判例など

つきましては、次の観点から、自由に御意見や御感想をお願いします。

①委員様自身が、図書館職員の力を借りて、情報や資料を入手するサービスを受けることで、具体的にどのような課題の解決（仕事、生活、学習等）に役立ちそうですか。

②こうしたレファレンスサービスの認知度が低いことが課題ですが、どうすれば県民に周知し、一層活用いただくことができるでしょうか。

③図書館の中心的なサービスは「閲覧・貸出」ですが、レファレンスサービスなど、閲覧・貸出以外のサービス（講演会、絵本の読み聞かせ会、郵送貸出、電子書籍、デジタル情報の発信等）を、どうすれば県立図書館の魅力アップ・利用者増につなげることができるでしょうか。